

子宮体癌 MRI ラジオミクスに基づく術前高リスク群予測モデルの開発に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2026 年 7 月 23 日 ～ 2029 年 03 月 31 日

〔研究課題〕

子宮体癌 MRI ラジオミクスに基づく術前高リスク群予測モデルの開発

〔研究目的〕

子宮体癌の治療方針を決定する上で、術前に病気の悪性度を正確に把握することは非常に重要です。本研究では、過去に撮影された MRI 画像を詳しく解析することで、手術前に「高リスク群」をより精度高く予測する手法を開発することを目的としています。

〔研究意義〕

この研究を行うことで、将来的に患者様一人ひとりに最適な治療を提供することを目指します。

〔対象・研究方法〕

2020年1月1日から2025年12月31日までの間に、帝京大学ちば総合医療センター産婦人科において子宮体癌と診断され、手術加療を受けた患者様のうち、術前に骨盤MRI検査（ADCマップを含む）を施行され、診療録および画像データが利用可能な方を対象とします。

なお、以下に該当する患者様は解析対象から除外します。

- ・ 術前治療（化学療法、放射線治療等）を受けた方
- ・ MRI画像の画質不良等により解析が困難な方
- ・ 病理学的診断が確定していない方
- ・ 診療録または画像データに著しい欠損がある方

過去の診療記録（カルテ）から以下の情報を抽出し、解析に利用します。

- ・ 画像データ：MRI 画像（ADC map 等）
- ・ 臨床情報：年齢、身長、体重、血液検査結果（腫瘍マーカー等）
- ・ 病理情報：手術後の診断結果（悪性度、浸潤の深さ、リンパ節転移の有無等）

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科

〔個人情報の取り扱い〕

利用するデータからは、氏名や生年月日などの個人を特定できる情報を削除し、特定できない形に加工します。研究成果を学会や論文で公表する際も、個人が特定されることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 五十嵐 敏雄 職名 教授
研究分担者:氏名 杉浦 健太 職名 助手
所属:帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科
住所:千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211(代表)